



光前寺 桜の会

狂言で語る「早太郎ものがたり」

三味線で歌う日本文学

平成十九年四月二十一日（土）

午後七時開演

信州駒ヶ根 光前寺 大講堂

「あいさつ」

水墨の世界のように凜としたたたずまいの名刹光前寺も、この季節だけはほんのりと華やぎを見せ
てくれています。

皆様本日はようこそお越しくださいました。御礼申し上げます。

三回目を迎える今回は、ほとんどの作品を新たに藤井大史先生に作曲していただきました。また京都からお迎えいたしました大蔵流狂言師の茂山茂様には、箏の演奏で「早太郎ものがたり」を語って
いただくという、取り組みをお願いいたしました。

お陰様でここ光前寺にふさわしい、すばらしい作品が揃いました。どうぞ最後までごゆっくりとお
楽しみ下さい。

大庫こずえ

演目

司 会 藤井 大史
演 奏 大庫こずえ
特別出演 茂山 茂

音響 松澤 淳
舞台 白澤 光明

一、八橋検校作曲

箏曲「六段の調べ」

箏 大庫こずえ

一、峰崎勾当作曲

地歌「ゆき」

三絃 大庫こずえ

花も雪も払へば清き袂かな ほんに昔の昔のことよ 我が待つ人も我を待ちけん
おしのおとりにもの思い葉の 凍るふすまになく音もさぞなさなきだに
心も遠き 夜半の鐘(合)
聞くも淋しきひとり寝の 枕に響く霰の音も もしやといつそせきかねて
落つる涙のつららより 辛き命は惜しからねども 恋しき人は罪深く
思はぬことの悲しさに 捨てた捨てた 浮世の山かづら

一、狂言小舞「幼けしたる者」

狂言小舞 茂山 茂

幼けしたる者あり 張り子の顔やぬり稚子
しゆくしゃ結びにささ結び 山科結びに風車
瓢箪に宿る山から くるみにふける友鳥
虎まだらのえのころ 起き上がり子法師 振り鼓
手鞠や 踊る鞠 小弓

一、谷崎潤一郎作詞／二世茂山千之丞作曲／十一世茂山千五郎形付

狂言小舞「細雪」

狂言小舞 茂山 茂

祇園 清水 嵯峨 嵐山 御室などと申せども
都の花は 平安神宮 大極殿の紅しだれよの
今年も花見に参つたれば げに咲いたりやな糸桜
そよ吹く風に 一ひら 二ひら ひらりひらり ひらりひらり

空に知られぬ細雪

かの三人の姉妹と けんを競いて候よ

かの三人の姉妹が 池の中なるおば島に 六つの袂を打ちかけ

ぱつと麩を投げて候へば あれよあれよ

緋鯉真鯉ども 今年も群れて参つたり

げに糸桜いとせめて 花見衣に花びらを

秘めておかまし 春の名残にと

姉の幸子が詠みて候

一、 小林千冬脚色 / 藤井大史作詞・作曲・狂言版台本監修

歌と狂言語りによる「早太郎ものがたり」 狂言語り 茂山 茂

歌・箏 大庫こずえ

慈悲の光の前で 生きるものはすべて 等しくなりて御仏に守られたもう

眠れよ神の杜で 仏の掌で 祈りし時は帰り来て守りたまえ

一、 藤井大史作曲

「三絃歌曲集」

歌・三絃 大庫こずえ

大庫こずえ詩

「春の雪」

ひとひらの 風とたはむる春の雪 花の目覚めを焦がれてもみむ

夢うつつ 風のよせたる花筏 水面の空に淡き紅さして

高村光太郎詩（藤井大史編）

「智恵子抄より」

智恵子は東京に空が無いと言ふ　ほんとの空が見たいと言ふ
智恵子は見えないものを見て　聞こえないものを聞く
智恵子は万物となつて　私に満ちる
あなたの愛は一切を無視して　私をつつむ

竹久夢二詩

「まてどぐくらせど」

待てど暮らせど君出でず　日は暮れ果ててほの白き　角のほとりの丁子の花よ
待てど暮らせど来ぬ人を　宵待草のやるせなさ　今宵は月も出ぬそうじゃ

藤井大史、村上春樹、土屋耕一詩、上方の童歌、他

「仔猫」 回文小唄

仔猫ねこ　コネコ猫　こねこ猫　仔猫ネコ

軽い機敏な仔猫　何びき　いるか

マタタビ　あびた　タマ

仔猫ねこ　コネコ猫　こねこ猫　仔猫ネコ

猫が追いかけて廻すのはネズミ　ネズミの他にもありまして

オケラ　毛虫　ゲジ（ゲジ）　蚊にぼうふり（ら）　セミ　カワズ

やんま　蝶々にキリギリスにハタハタ　ブンブ（金ブン）の背中ではピーカピカ

（セリフ　アドリブ）

仔猫ねこ コネコ猫 こねこ猫 仔猫ネコ
軽い機敏な仔猫 何びき いるか
マタタビ あびた タマ
仔猫ねこ コネコ猫 こねこ猫 仔猫ネコ

在原業平・大江千里詩

「月之春秋」

月やあらぬ 春や昔の春ならぬ 我が身一つは元の身にして
月見れば 千々に物こそ悲しけれ 我が身一つの秋にはあらねど

与謝野晶子詩

「翡翠」

秋の夜の 灯かげに一人もの縫えば 小き虫のここちこそすれ
幾年も 仰がでありし心地しぬ 翡翠の色の初秋のそら

藤井大史作詩・作曲ノ大庫こずえ編曲

「ちよいと昔の事にて候」

ちよいと昔のことにて候 江戸は下谷の桶屋の主人
蕎麦好き 酒好き 鰻好き 中にも好いたる握り寿司
頃は五月で目に青葉 江戸を賑わす大食会 得たりやおうと勝ち抜いて
つまみし寿司のその数は 食べも食べたり四百貫
マグロにカジキにメジ カツオ ヒラメにスズキにタイ ハマチ

甘エビ 縞エビ 車エビ イカ タコ アワビにブリ 赤貝
ミル貝 トリ貝 ホツキ貝 アオヤギ ホタテにウニ イクラ
あと 玉子にコハダにアジ サヨリ 穴子にハマグリ ゲソ イサキ
サバ シャコ イワシに鉄火巻き ノリ巻き シソ巻き カツパ巻き
トロトロトロトロトロトロトロトロトロ

最後の生姜に手をかけて そのままあの世へ行つたとさ

自分で作つた早桶に 哀れ主人は詰め込まれ

下谷の町内揺られ出て 上野の山下廻りこみ

三枚橋から広小路 黒門町からまつつぐに

五軒町から旅籠町 仲町 英町 須田町 新石町 鍋町 鍛冶町 乗物町

今川橋を渡ります 本白銀町 石町 本町 室町 日本橋

通り三丁中橋から南伝馬町 京橋を渡ります

銀座四丁突き抜けて 尾張町 竹川町 出雲町 新橋の手前を右に切れまして

土橋を渡つて兼房町 久保町 愛宕下

神谷町から飯倉六丁 坂を上げて狸穴へ

上杉様のお屋敷を 横に眺めて飯倉片町

ここにあるのが団子屋さん おかめ団子はおいしいよ

左に永坂下ります 麻布十番走り抜け

大黒坂を上がります 一本松が見えまして

麻布絶口釜無村の木蓮寺に着いた時には

随分みなくなつたびれた

くたびれた くたびれた くたびれた くたびれた

歌う方とて楽じゃない おわり

主催 大庫こずえ

共催・協賛 光前寺

昼神温泉 石苔亭いしだ

協賛 信州伊那紬 久保田職染工業株式会社

後援 駒ヶ根市

駒ヶ根市観光協会

(財) 信毎文化事業財団

SBC 信越放送

長野朝日放送(株)

(株) テレビ信州

NBS 長野放送

(株) エコーシティー 駒ヶ岳

ご協力いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。